

6) ゴミ対策と住民参加の海岸環境保全

◆ 渡島東沿岸住民アンケートによると、「海岸で不満に思うこと」ではゴミが多いという回答が26%となり最も多く、「10年前と比べてどうなったか」では海岸のゴミや油、砂浜のゴミについて約半数の人が多くなったと感じています。

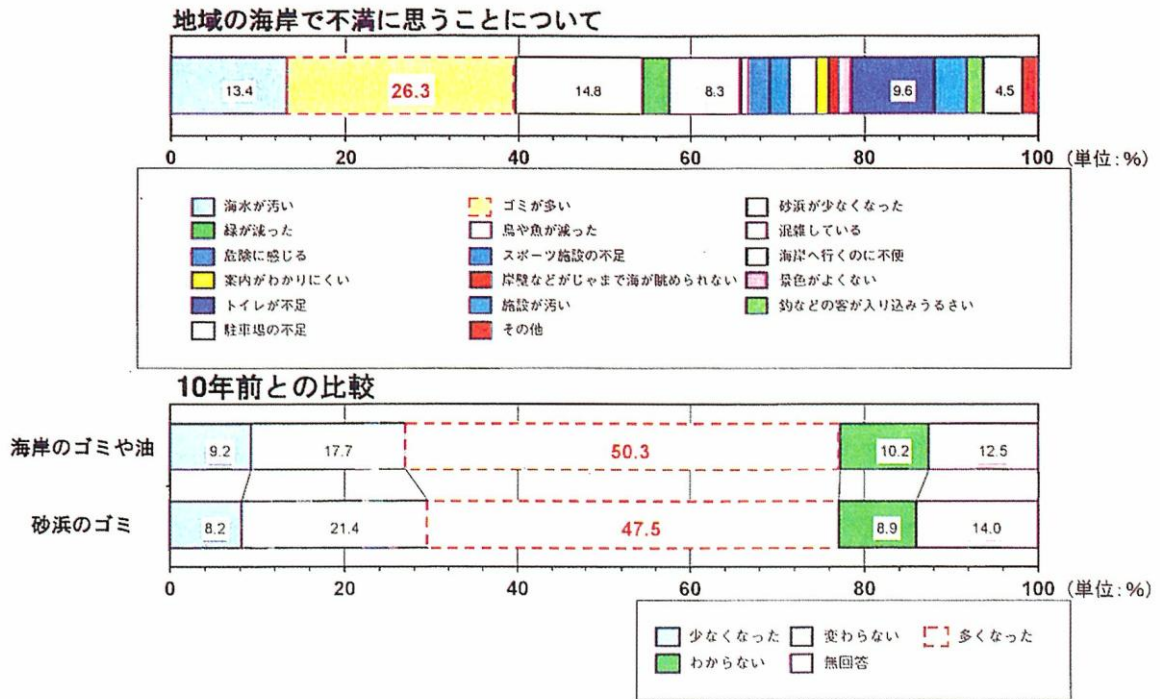


図- 23 海岸で不満に思うこと

資料- 渡島東沿岸住民アンケート (2000年12月)



写真- 28海岸のゴミの事例 (長万部町)

- ◆ 地域住民によるボランティア活動では主に海岸清掃が行われており、地域によっては植樹などの活動も行っています。

渡島東沿岸住民アンケートによると、「ボランティア活動についての考え」では、すでに参加している、続けて欲しいなど肯定的な意見が大半を占めています。

### ゴミ拾いや植樹などのボランティア活動について

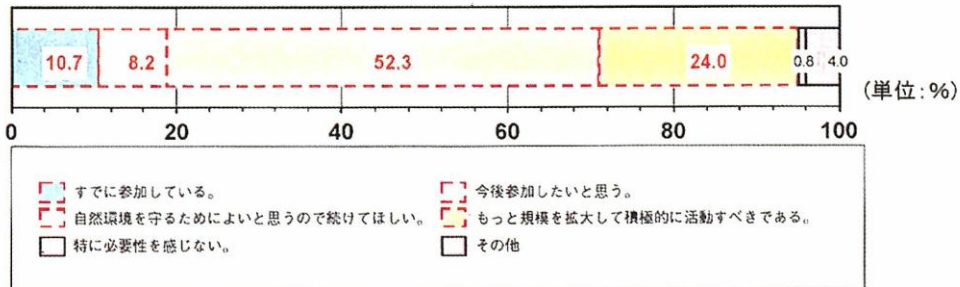


写真- 29 海岸の清掃活動 (南茅部町)



- ◆ 南茅部町では、「ゴミは捨てない」をスローガンに「缶バック運動」を展開しています。これに対し、ゴミの有料化以降、大型のゴミが多く見られるようになった地区もあります。

◆ 海岸環境で避けられない課題がゴミ対策であり、漂着ゴミ・流木による環境への影響、その処理や不法投棄の対策などさまざまな問題を抱えています。美しい海岸環境を守るため、関係機関や地域住民との連携を深め、役割分担を明確にするとともに、ボランティアなどと協力して環境の保全に取り組んでいく必要があります。

## 7) 海岸環境の教育と取り組み

- ◆ 近年の海岸環境の悪化はゴミの投棄、水質汚染など少なからず人々の環境への配慮不足や認識不足が影響していると考えられます。渡島東沿岸住民アンケートからもゴミ問題などに関して海岸利用者のモラル・マナーの改善・教育を重視する意見が多く寄せられています。沿岸の良好な自然環境を守り、未来の世代に引き継いでいくために、人と環境とのかかわりについて理解と認識を深め、環境に配慮した行動がとれるよう学習する機会を設けることが重要となります。
- ◆ 平成14年度より「総合的な学習の時間」が導入され、自然体験活動により、山や海、川などの自然環境を学ぶことが期待されています。地域と連携・協力して次世代を担う子供達が楽しみながら海岸環境を学習できる自然体験・生活体験の場や機会の充実が必要となります。このため、安全に海岸を利用できるような施設の整備を心がける必要があります。



写真- 30 海岸の環境学習

## 8) 歴史・文化の保存・伝承

◆ 古来より人は海と遊び、海岸を憩いの場とし、海辺の景色を安らぎの場としてきました。その長い歴史のなかで生まれ、育まれてきた文化的所産、史跡、生活習慣などに根ざした歴史的文化遺産、祭事、伝統芸能などは環境の変化や時代の推移に伴い、保存や伝承が困難になってきているものもあります。

渡島東沿岸は指定文化財なども多く北海道のなかでも歴史のある地域であります。沿岸域の貴重な自然や文化遺産を次世代に引き継いでいくために、自然環境の保全や文化財などの保存対策を積極的に進める必要があります。

表- 2 指定文化財の状況 (平成11年4月1日現在)

	地域 を定 めず	石 狩	渡 島	桧 山	後 志	空 知	上 川	宗 谷	留 萌	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室	国 保 有	計
国指定	15	20	21	9	9	5	4		5	7	9	4	2	13	6	4	133
道指定		5	33	19	8	5	3	10	1	13	7	4	14	5	5		132
合計	15	25	54	28	17	10	7	10	6	20	16	8	16	18	11	4	265

資料- 北海道環境白書99 (北海道環境生活部) より抜粋



写真- 31 礼文華岩屋観音 (豊浦町)